



親の幸せを祈りに入れると、願いが神様に通りやすい

比べられてきたことがコンプレックスになっていく」というお話がありました。心のどこかで両親を恨んで

いたようです。

お祈りを通じて、両親の幸せを願われるようにとお話ししました。最

初は抵抗感が強かったでしょう。でも、本気で祈り続けると、しだいに自分の気持ちが変わっていき、態度や行動も変わってくるはず

です。このかたもだんだんと、自分が前に進めないうことを、親や過去の因縁のせいにしていたと気づかれていったようです。親への恨みがしだいに感謝の気持ちへと変わり、心が前向きになっていきました。

現在は、仕事に復帰され、元気に暮らしておられます。

次に、料理屋を営んでおられる40代のご夫婦のお話。お店の切り盛りが忙しかったせいもあってか、子育てに恵まれなかったが、子どもが欲しいとのことでした。

お話を聞くうちに、ご夫婦はもともと親思いでおられることがわかりました。奥様は、お母さんから受け継いだ味を、自分のお店で広めたいという願いをお持ちでした。ご主人は、実家がやはり料理屋を営んでいたのが、つぶれてしまったので、親の分もがんばりたいということでした。そこで、子宝や商売繁盛の祈願に加えて、それぞれのご両親の健康をお祈りさせていただくことにしました。

その後、奥様は45歳でみごとにご出産なされました。お店も繁盛し、チェーン展開をしています。「忙しいときには、両親が孫の顔を見ながら、手伝いに来てくれる」と、うれしそうにお話しされました。

皆さんもぜひ、ご自分の願いとともに、親の幸せを神様にお祈りしてください。祈願のしかたについては「神棚に向かい、作法に従ってお祈りしましょう」といったことは申しません。自分なりのやり方で、心の中で祈るだけでもよいのです。

※神道家 この記事では「宗教家」と同じ意味